



## Nearly ZEB(ニアリーゼブ)認証の取得について

呉市では、令和5年3月に策定した第3次呉市環境基本計画に基づき、温室効果ガスの排出量削減のため、建築物の省エネルギー化に取り組むこととしており、公共施設を新築、改築する際の建物のZEB化を検討しています。

このたび、令和8年2月20日に完成した「東消防署川尻出張所・川尻分団車庫」が、国土交通省が主導する建築物の省エネルギー性能に特化した第三者機関（日本ERI株式会社）から、市有建築物では初となるNearly ZEB（ニアリーゼブ）（※）の認証を受けました。

### （省エネルギー化のために整備した主な設備）

「東消防署川尻出張所・川尻分団車庫」は、主に次の設備を整備し、一次エネルギー（石油、天然ガスなど）の消費量を78%削減（省エネ51%+創エネ27%）する建築物として、Nearly ZEB（ニアリーゼブ）の認証を受けました。

- 省エネに関する設備（LED照明、高効率空調設備、エコ給湯設備）
- 省エネ性能を向上させる設備（複層ガラス、高断熱を考慮した断熱材）
- 創エネに関する設備（太陽光発電設備）

### （※） Nearly ZEB（ニアリーゼブ）

ZEB（ゼブ）とは、Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する一次エネルギーの年間収支をゼロにすることを目指した建物をいいます。

今回認証を受けたNearly ZEB（ニアリーゼブ）は、省エネと創エネで、一次エネルギーの消費量を75%以上削減する建築物です。